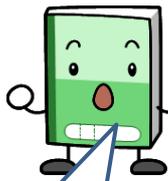


「指導と評価の一体化」のための学習評価（小学校社会科のポイント）【R2 NEW】



【R2 NEW】では、「3指導と評価の計画」において、「何時間目どのような評価を行うか」が分かりやすくなりました。

- 知識・技能については「～を調べ、～まとめ、～理解している」などと、知識と技能を関連付けて評価規準を作成します。
- 思考・判断・表現については「～に着目して、問いを見出し、～考え表現する」という「追究場面」における評価と、「～比較・関連付け、総合などして、～考えたり、学習したことを基にして、選択・判断したりして表現する」という、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする「解決場面」における評価について評価規準を作成します。
- 主体的に学習に取り組む態度については、「社会的事象について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究・解決しようとしているか」「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしているか」という学習状況を捉えるようにして、知識・技能や思考・判断・表現等を身に付けることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と自らの学習を調整しようとする側面について、評価規準を作成します。

単元名

廃棄物を処理する事業

内容のまとめ

第4学年 内容（2）

「人々の健康や生活環境を支える事業」

1 単元の目標

廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに**着目して**、見学・調査したり地図などの資料で**調べたりしてまとめ**、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業の果たす役割を**考え、表現する**ことを通して、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを**理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決**し、学習したことを基に地域社会の一員として自分たちが協力できることを**考えようとする態度を養う**。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。</p> <p>用語等、資料等を調べて分かる社会的事象の様子についての具体的知識。</p> <p>② 調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。</p> <p>調べてまとめたものを基にして考えて分かる汎用性のある概念的知識。</p>	<p>① 処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見出し、廃棄物の処理のための事業の様子について考えを表現している。</p> <p>② <u>廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付けて</u>廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基にごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。</p> <p>単元によっては、「社会への関わり方を選択・判断する場面」が設定されていない場合も考えられます。<u>内容の記載事項等に留意し</u>、単元の学習活動に応じて適切に文言を選びながら評価規準を設定することが大切です。</p>	<p>① 廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>② 学習したことを基にごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしている。</p> <p>「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする」では、社会に見られる課題を把握して社会への関わり方を選択・判断したり、多角的に考えをまとめたりする学習場面で表出されることが多いことが考えられます。そのため、<u>思考・判断・表現との関連性を踏まえて評価規準を設定するのが大切です</u>。</p>

※下線については、内容の取扱いの記載事項 解説の記載事項 を参考に作成したことを意味しています。

効果的・効率的な評価を行うための工夫として、評価を行う場面や頻度の精選を踏まえ、単元を通してそれぞれの観点の実現状況が把握できる段階で、評価した結果を記録に残し、総合的な評価を行う「評価した結果を記録に残す場面」を明示しています。

3 指導と評価の計画（全10時間）

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時間	ねらい	○主な学習活動・内容	□資料	評価方法と【評価規準】
1	<p>たくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習問題をつくることができるようにする。</p> <p>ごみの処理にたずさわる人々は、たくさんのごみをどのようにして処理しているのでしょうか。</p>	<p>○家や学校等から出るたくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や学校、市（区町村）から出るゴミの量 ・ごみの種類や出し方 ・学習問題の設定 <p>など</p>	<p>□グラフ「ごみの量や種類（家・学校）」</p> <p>□グラフ「市のごみの量」</p> <p>□表「ごみの分別表」</p> <p>□写真「ごみステーション」「ごみ収集車」「清掃工場やリサイクルセンター」</p>	<p>発言内容やノートの記述内容から、「処理の仕組みや再利用などに着目して、問いを見いだしているか」を評価する。【思—①】</p> <p>「どのように…」「どうして…」等の問いを見出し、考え、表現しているかを評価しています。</p> <p>網掛けの有無に関わらず、評価は児童の学習状況を捉えるとともに、その結果を指導に生かすことが大切です。</p>
2	<p>学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てることができるようにする。</p>	<p>○学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習問題解決に向けた予想 ・学習計画の立案 <p>清掃工場の見学</p> <p>リサイクルセンター調べ</p>	<p>□学習計画表</p>	<p>発言内容、ノートの記述内容や学習計画表から、「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。【態—①】</p> <p>「粘り強い取組を行おうとする側面」として評価しています。</p>
3・4	<p>見学・調査したり資料で調べたりして、清掃工場が燃えるごみを処理する様子を調べることができるようにする。</p>	<p>○清掃工場が燃えるごみを処理の様子を見学・調査したり各種資料を活用したりして調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃工場が燃えるごみを処理する仕組み ・清掃工場の仕事の工夫や苦労 	<p>□パンフレット「清掃工場」</p> <p>□清掃工場の方の話</p>	<p>ノートや見学カードへの記述内容から「必要な情報を集め、読み取り、燃えるごみを処理する仕組みなどについて理解しているか」を評価する。【知—①】</p> <p>「～しているか」という姿を、あらかじめ具体的に想定しておくことで、「努力を要する(C)」と評価せざるを得ない児童についての手立てを明確にして、指導に生かすことが大切です。</p>
5	<p>資料を活用し、リサイクルセンターが燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する様子を調べることができるようにする。</p>	<p>○リサイクルセンターが燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する様子を各種資料を活用して調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃えないごみ、資源ごみ、粗大ごみを再利用する仕組み ・リサイクルセンターの仕事の工夫や苦労 	<p>□パンフレット「リサイクルセンター」</p> <p>□図「リサイクルの仕組み」</p> <p>□文章資料「リサイクルセンターの方の話」</p>	<p>ワークシートの記述内容や発言内容から「必要な情報を集め、読み取り、燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する仕組みなどについて理解しているか」を評価する。【知—①】</p>

【知—①】では、「調べる」学習過程において、見学・調査したり、各種資料を活用したりして情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を具体的に理解しているかを評価しています。

6	<p>見学・調査したり資料で調べたりしたことをまとめ、話し合い、学習を見直すことができるようにする。</p>	<p>○これまで調べてきたことをまとめ、さらに調べるべきことについて話し合う。 【まとめること】 ・ごみ処理の仕組みや経路 ・ごみ処理に関わる人々の働き 【さらに調べるべきこと】 ・灰の処理に関する問題</p>	<p>□これまでに活用してきた資料 □ノート □実物「灰」</p> <p>「自らの学習を調整しようとする側面」として評価しています。</p>	<p>ノートの記述内容や学習計画表などから「これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを見だし、見通しをもって追究しようとしているか」を評価する。 【態一①】</p>
7	<p>市（区町村）が行っているごみ処理問題の解決策を調べ、計画的な取組について考えることができるようにする。</p>	<p>○市（区町村）がごみ処理問題を計画的に解決している様子を調査したり各種資料を活用したりして調べる。 ・市（区町村）が現在のごみ処理問題を解決している様子 ・市（区町村）がこれまでのごみ処理問題を解決してきた様子</p>	<p>□文章資料「市役所の方の話」 □写真「昔と今のごみ処理の様子」 □写真「最終処分場」</p>	<p>ノートの記述内容などから「現在に至るまでに衛生的に処理する仕組みが作られ、計画的に改善されてきたことについて考え表現しているか」を評価する。 【思一①】</p>
8	<p>調べたことをもとに、学習問題について話し合い、ごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現することができるようにする。</p>	<p>○学習問題について話し合い、ごみを処理する事業の果たす役割について考える。 ・ごみ処理事象の役割についての自分の考え</p>	<p>□資料「学習で活用してきた資料」 □ノート</p>	<p>ノートの記述内容や発言内容などから、「学習したことを基にごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現しているか」を評価する。 【思一②】</p>
9	<p>調べたことをもとに、学習問題について図や文にまとめることができるようにする。 [⑨]</p>	<p>○学習問題について調べたことや話し合ったことに基づいて、ごみ処理の仕組みや経路、人々の協力関係などについて図や文にまとめる。 ・学習問題に対するまとめ</p> <p>【知一②】では、「まとめる」学習過程において、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていること、それらは生活環境の維持と向上に役立っていることをまとめ、具体的に理解しているかを評価しています。</p>	<p>□資料「学習で活用してきた資料」 □ノート</p>	<p>ノートの記述内容などから、「廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていること、それらは生活環境の維持と向上に役立っていることを理解しているか」を評価する。 【知一②】</p>

10	<p>様々な立場からごみを減らすための呼びかけをしていることについて考え、ごみを減らすために自分たちに協力できることは何か考え、表現することができるようにする。</p>	<p>○様々な立場からごみを減らすための呼びかけをしていることについて話し合い、ごみを減らすために自分たちにできることは何か考え、発表し合う。</p> <p>○ごみを減らすために自分たちにできることについてノートに自分なりの考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみを減らす呼びかけおよびその理由 ・リサイクル法 ・世界のごみ処理の様子 ・ごみを減らすために自分たちに協力できること 	<p>□文章資料「ごみ減量に関する様々な取組」「ごみの輸出」</p> <p>□グラフ「一人あたりのゴミの焼却量」「世界の焼却炉の数」</p>	<p>ノートの記述内容や発言内容などから、「学習したことを基に、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現しているか」を評価する。 【思－②】</p> <p>ノートの記述内容から、「単元の学習を振り返り、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしているか」を評価する。 【態－②】</p>
----	--------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

よりよい社会を考え学習したことを生かそうとする側面をノートの記述内容から評価しています。

学習過程【学習問題をつかむ】 1・2時【学習問題を追究する】 3・4・5・6・7時【まとめる】 8・9・10時

【観点ごとの総括的な評価の方法の考え方】

- 知識・技能と思考・判断・表現については、「まとめる」や「いかす」学習過程において行った評価結果を重視します。それは、最後の評価場面における評価結果は、継続的に指導を積み重ねた結果の学習状況であると捉えるからです。
- 主体的に学習に取り組む態度については、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追及・解決しようとしている、主体的に問題解決しようとする態度「態－①」と、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている「態－②」という二つの態度について評価することになるので、それぞれの主旨を踏まえて評価することになります。

(例)

	評価規準 [] 内数字は時数を表す。	Y児	U児	M児
知識・技能	【知－①】 [③④]			
	【知－①】 [⑤]			
	【知－②】 [⑨]	A	B	B
	単元の総括的な評価	A	B	B
思考・判断・表現	【思－①】 [①]			
	【思－①】 [⑦]			
	【思－②】 [⑧]	A	B	B
	【思－②】 [⑩]			
	単元の総括的な評価	A	B	B
主体的に学習に取り組む態度	【態－①】 [②]			
	【態－①】 [⑥]	A	B	C
	【態－②】 [⑩]	A	A	B
	単元の総括的な評価	A	B	B

- 表の空欄部分は、児童の学習状況を見取り、指導に生かし、学習改善や指導改善につなぐことを重視する時間を意味しています。
- 評定が記入されている部分は、評価したことを指導に生かしつつ、評価したことを記録に残す時間を意味しています。